

方策 10. 生態系・自然と人間との適切な距離・関係を維持した開発

新型コロナウイルス感染症の原因は、生態系と自然、人間との距離が大きく変化したことにあるともいわれる¹⁷。したがって、人間も、社会も、生態系も健康でいられる社会（ワンヘルス）の構築が、さらなる感染症対策という意味でも、コロナ禍の先の社会が目指すべきところとなる。

SDGs 達成へ向けた留意点

1. 生物多様性評価：グリーンリカバリー政策を踏まえた山岳生態系の持続可能な利用の仕組みを構築したり、自然生態系の保全活動への参加、ゴミの持ち帰りやマナーの遵守などを徹底したりすることが必要となる。
2. ワシントン条約の遵守や、生態系と人間圏の適切な関係構築を前提とした土地利用策、開発の実施、また、こうした評価システムの導入。

達成に貢献する主なターゲット

- 3.3（感染症の根絶）
- 14.1（あらゆる種類の海洋汚染の防止と大幅な削減）
- 14.2（海洋・沿岸の生態系の持続的な管理・保護）
- 14.3（海洋酸性化の影響を最小限に抑える）
- 15.4（山岳生態系の保全）
- 15.5（絶滅危惧種の保護）
- 15.7（違法な野生生物製品の需要と供給への対処）

¹⁷ 高橋康夫（2020）「IPBES 地球規模評価報告書からのメッセージと生物多様性ポスト愛知目標に向けた展望」公益財団法人地球環境戦略研究機関